

令和6年 第3回

いなべ市議会 定例会 報告

令和6年第3回定例会報告

報告番号	件名	備考
報告 第6号	令和5年度いなべ市健全化判断比率の報告について	
報告 第7号	令和5年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第8号	令和5年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第9号	令和5年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について	
報告 第10号	令和5年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について	
	以下余白	

報告第6号

令和5年度いなべ市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、令和5年度いなべ市健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和6年8月28日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和5年度 いなべ市健全化判断比率

	令和5年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— %	12.82 %
② 連結実質赤字比率	— %	17.82 %
③ 実質公債費比率	9.8 %	25.0 %
④ 将来負担比率	0.8 %	350.0 %

報告第7号

令和5年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和5年度いなべ市水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和6年8月28日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和5年度いなべ市水道事業会計資金不足比率

	令和5年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 2,816,891 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 798,546 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 352.8\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 426,867 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 252,125 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 2,991,633 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 2,816,891 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 798,546 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 798,546 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和4年度いなべ市水道事業会計資金不足比率＝▲343.9%

報告第8号

令和5年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和5年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和6年8月28日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和5年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率

	令和5年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 1,227,214 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 514,626 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 238.5\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 1,090,026 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 821,296 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 1,495,944 \text{ 千円} \\ &= \quad \quad \quad \blacktriangle 1,227,214 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 514,626 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= \quad \quad \quad 514,626 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和4年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率＝▲216.9%

報告第9号

令和5年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般財団法人ほくせいふれあい財団の経営状況について、次のとおり報告する。

令和6年8月28日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和5年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和6年度事業計画書及び収支予算書

一般財団法人ほくせいふれあい財団

令和5年度事業状況報告書及び収支決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和6年度事業計画書及び収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和5年度事業状況報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和5年度は、法改正による財団法人から一般財団法人に移行し11年目を、青川峡キャンプパークは開設から21年目を、阿下喜温泉は指定管理者制度開始から14年目をそれぞれ迎えた。

1 キャンピングパーク事業部

事業収入は147,284千円と前年対比で93%、入場者数は35,164人と前年対比88%でいずれも前年比減となった。

キャンプブームが落ち着き、平日のテント泊が減少したこと、週末の繁忙期に雨天の日が多かったこと、また、8月24日未明からの集中豪雨により炭焼棟倉庫、水辺サイトが浸水被害に遭い、建物や作業車両、整備機材などに大きな被害を受けたとともに、水辺サイトの稼働が大幅に減ったことにより全体的に稼働率が下がり前年比減の要因となった。

清掃スタッフは慢性的な人員不足であり、特に女性常勤パートの高齢化、世代交代が大きな課題となっている。若い世代に業務を引き継いでいく観点からも新しい人材確保が必要である。

施設面においては、20年が経過し、老朽化や経年劣化が目立ってきた。センターハウスの空調が壊れたため、次年度に計画していた多目的室、喫茶室の空調と併せてこの機会に交換した。また、センターハウス正面駐車場、かもしかキャンプフィールドの周遊道路などの舗装工事、場内への水道水を供給する上水道ポンプなど多数の修理、修繕を行った。

公園管理事業として、いなべ市と締結した青川公園管理委託契約により、年間を通して樹木の管理及び清掃、遊具の保守管理や点検、修繕などを実施した。今年度はローラースライダーの大規模修繕を行った。

2 阿下喜温泉事業部

いなべ市による阿下喜温泉再構築事業（大規模改修）に伴い、令和6年4月の株式会社温泉道場の運営によるリニューアルオープンに向け、本年6月1日から臨時休業とし、指定管理者としての最終年度の業務を行った。

休業中は、回数券の払い戻し対応、取引業者との調整、備品の確認移行などを行いながら、温浴機器の定期稼働、保守管理などを実施した。

機器保守管理により、ヒートポンプ、ヒートポンプシーケンサー、塩素生成機器などを更新し、全ての温浴機器が正常稼働できるよう作業を実施するとともに、館内及び設備機器の清掃を進め、株式会社温泉道場への適正な引き渡しを行った。

令和5年度収支決算書
正味財産増減計算書

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

(合 算)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	282,887	282,887	0
基本財産受取利息(注1)	282,887	282,887	0
②事業収益	202,876,152	263,152,722	△ 60,276,570
指定管理料収入	47,300,000	47,300,000	0
温泉利用料収入	6,620,290	46,222,280	△ 39,601,990
施設利用料収入	24,249,020	30,847,560	△ 6,598,540
トレーニング利用料収入	57,100	870,300	△ 813,200
オートキャンプ収入	26,791,125	33,384,566	△ 6,593,441
かもしかキャンプフィールド収入	2,115,428	2,662,500	△ 547,072
コテージ等収入	65,384,033	67,703,729	△ 2,319,696
炭火焼ハウス収入	2,507,250	1,902,850	604,400
売店収入	17,944,607	18,780,425	△ 835,818
あじさいの店収入	631,713	3,277,966	△ 2,646,253
レンタル収入	3,854,144	3,944,600	△ 90,456
キャンセル料収入	2,963,500	3,149,450	△ 185,950
その他の収入	2,457,942	3,106,496	△ 648,554
③雑収入	1,199	1,397,199	△ 1,396,000
受取利息	1,199	1,399	△ 200
雑収入	0	1,395,800	△ 1,395,800
経常収益計	203,160,238	264,832,808	△ 61,672,570

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
①事業費	194,703,577	240,853,506	△ 46,149,929
事業原価	11,442,106	12,433,053	△ 990,947
期首棚卸高	8,421,621	9,090,133	△ 668,512
売店仕入	12,301,769	10,674,330	1,627,439
あじさいの店仕入	165,082	1,090,211	△ 925,129
期末棚卸高	△ 9,446,366	△ 8,421,621	△ 1,024,745
役員報酬	4,751,500	6,220,000	△ 1,468,500
給与手当	64,563,841	70,885,124	△ 6,321,283
臨時雇賃金	4,090,691	3,751,167	339,524
退職金	1,010,000	510,000	500,000
法定福利費	8,466,564	8,382,576	83,988
福利厚生費	7,335,075	4,315,486	3,019,589
旅費交通費	473,661	118,890	354,771
通信運搬費	2,034,690	1,906,066	128,624
諸謝費	36,740	22,130	14,610
減価償却費	9,368,301	12,146,997	△ 2,778,696
賃借料	2,381,625	4,596,567	△ 2,214,942
保険料	606,558	554,980	51,578
修繕費	9,768,923	4,684,960	5,083,963
水道光熱費	16,959,056	32,990,995	△ 16,031,939
消耗品費	12,905,541	13,958,371	△ 1,052,830
租税公課	6,349,147	10,369,378	△ 4,020,231

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負 担 金	56,250	56,250	0
印 刷 製 本 費	1,191,245	1,449,554	△ 258,309
広 告 宣 伝 費	1,926,378	806,450	1,119,928
支 払 手 数 料	2,777,600	2,847,399	△ 69,799
諸 会 費	89,727	113,275	△ 23,548
新 聞 函 書 費	20,956	23,640	△ 2,684
車 両 費	2,392,613	2,248,515	144,098
委 託 費	21,481,136	44,385,399	△ 22,904,263
イ ベ ン ト 費	2,223,653	1,076,284	1,147,369
②管理費	1,952,778	1,974,771	△ 21,993
役 員 報 酬	1,023,500	1,292,000	△ 268,500
給 与 手 当	480,675	180,086	300,589
法 定 福 利 費	145,519	208,788	△ 63,269
福 利 厚 生 費	22,612	11,323	11,289
通 信 運 搬 費	9,742	9,577	165
水 道 光 熱 費	49,380	68,197	△ 18,817
租 税 公 課	26,075	23,275	2,800
負 担 金	18,750	18,750	0
支 払 手 数 料	275	275	0
委 託 費	176,250	162,500	13,750
経 常 費 用 計	196,656,355	242,828,277	△ 46,171,922
当 期 経 常 増 減 額	6,503,883	22,004,531	△ 15,500,648
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	2,092,645	916,179	1,176,466
寄 付 金	47,170,203	0	47,170,203
回 数 券 払 戻 損	3,961,600	0	3,961,600
経 常 外 費 用 計	53,224,448	916,179	52,308,269
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 53,224,448	△ 916,179	△ 52,308,269
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 46,720,565	21,088,352	△ 67,808,917
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	72,000	6,969,900	△ 6,897,900
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 46,792,565	14,118,452	△ 60,911,017
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	239,874,304	225,755,852	14,118,452
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	193,081,739	239,874,304	△ 46,792,565
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	193,081,739	239,874,304	△ 46,792,565

(注1) 基本財産受取利息

	当 年 度	前 年 度
受 取 利 息	300,000	300,000
償 却 原 価 法 に よ る 償 却 費	△ 17,113	△ 17,113
	<u>282,887</u>	<u>282,887</u>

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資 産 の 部			
流動資産			
現金（現金手許有高）	1,851,630		
預 金	71,630,899		
普通預金／三十三銀行 阿下喜支店	59,714,676		
普通預金／百五銀行 阿下喜出張所	4,065,970		
普通預金／桑名三重信用金庫 阿下喜支店	77,914		
振替口座／ゆうちょ銀行 名古屋貯金事務センター	7,521,234		
普通貯金／三重北農業協同組合 阿下喜支店	251,105		
未収入金（施設利用料 他）	7,673,525		
棚卸資産（売店商品 他）	9,446,366		
前払費用（飲食店営業許可会費 他）	6,950		
仮 払 金（年末調整未控除額 他）	199,552		
流動資産合計		90,808,922	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券（第334回利付国債）	50,002,856		
基本財産合計	50,002,856		
その他固定資産			
建物（炭焼棟 他）	7,542,420		
建物附属設備（電気工事 他）	18,423,926		
構築物（植栽工事 他）	28,097,225		
機械装置（コンボ 他）	1,559,750		
車両運搬具（ハイゼットダンプ 他）	2,277,032		
工具器具備品（監視カメラ 他）	6,680,790		
建設仮勘定（南斜面車庫 他）	1,509,676		
ソフトウェア（予約システム）	139,150		
電話加入権	20,000		
長期前払費用（炊事棟負担金）	653,308		
その他固定資産合計	66,903,277		
固定資産合計		116,906,133	
資産合計			207,715,055
負 債 の 部			
流動負債			
未払金（未払給与 他）	14,552,316		
仮受金（釣券代 預り金）	9,000		
未払法人税等（当期確定額）	72,000		
流動負債合計		14,633,316	
負債合計			14,633,316
正味財産合計			193,081,739

令和6年度事業計画書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

青川峡キャンプパークは開設から22年目を迎える。

令和2年1月に国内で初めて感染者が報告された新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、今までに類を見ない状況となり、この間キャンプ業界は大きく変動した。令和5年5月の感染症法上の5類感染症への移行により一応の収束をみる事ができたが、社会状況が大きく変わっており変化に対応できる運営が必要となる。

市内では、昨年4月に「Nordisk Hygge Circles UGAKEI」が本格的にオープンし、本年4月11日には「阿下喜温泉あじさいの里」が、自然と健康をテーマにした温泉複合施設「いなべ阿下喜ベース」としてリニューアルオープンする。また、農業公園では野遊びSDGs拠点（仮称）のオープンに向けて準備を進めている。

こうした状況の中、開設22年目を迎えるに当たり、これまでの21年を振り返り、新たな20年をどのようなキャンプ場にしていくかを、外部有識者の意見も交えながら全スタッフでミーティングを重ねた。その結果、これまでと同様、子ども連れのファミリー層をメインターゲットとし、安全安心で快適な利用環境を提供する従来の方針をより太く継続していくとともに、「学び」や「自然とのふれあい」の機会を増やし、体験を通じて満足感を感じてもらい「成長」を体感できる施設として繋げていくこととする。

また、施設の老朽化対策を強化する必要があるため、現在の利用者ニーズに沿った質の高い、清潔で快適な利用空間を提供するべく、リニューアルとリノベーションを進める。

さらに、当キャンプ場にとって最大の魅力であり生命線である、青川の環境維持については、引き続き三重県、いなべ市と協議し、場内へ安定的に川水が供給できる水路の確保及び青川の安全性と遊べる水場の確保に努める。

【運営の柱】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響からの脱却と集客への取り組み
- (2) オリジナル、オンリーワンの追求
- (3) 老朽化施設、設備の更新と修理
- (4) 人員不足の解消、スタッフのスキルアップ
- (5) 河川環境の維持
- (6) いなべ市、三重県との連携
- (7) 市内施設、市内イベントとの連携
- (8) PRと集客
- (9) 青川ブランドの確立と伝統づくりの推進
- (10) 運営計画の作成及び長期整備の実施

令和6年度 青川峡キャンピングパーク 収入予算明細書

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 収入の部			
1 事業収入			
施設利用収入	36,000	33,000	3,000
オートキャンプ収入	36,500	34,000	2,500
コテージ収入	21,500	20,500	1,000
アイランドコテージ収入	21,500	20,500	1,000
ログハウス収入	7,800	7,100	700
ログキャビン収入	8,200	7,600	600
トレーラーキャビン収入	3,300	3,100	200
CABIN'Gサイト収入	18,500	17,000	1,500
かもしかCF収入	5,200	4,500	700
炭火焼ハウス収入	3,600	3,000	600
売店収入	22,000	20,000	2,000
レンタル収入	4,800	4,300	500
イベント収入	1,900	1,500	400
キャンセル料収入	2,400	3,000	△ 600
その他収入	1,200	590	610
計	194,400	179,690	14,710
2 基本財産運用収入			
利息収入（国債）	290	300	△ 10
計	290	300	△ 10
3 雑収入			
受取利息	1	1	0
雑収入	9	9	0
計	10	10	0
当期収入合計（A）	194,700	180,000	14,700
前期繰越収支差額	0	8,200	△ 8,200
収入合計（B）	194,700	188,200	6,500

令和6年度 青川峡キャンピングパーク 支出予算明細書

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
事業原価			
仕入高	14,000	13,000	1,000
計	14,000	13,000	1,000
2 管理費			
人件費			
役員報酬	4,000	3,800	200
給与手当	70,000	65,000	5,000
退職手当引当金	400	300	100
法定福利費	7,000	7,100	△ 100
福利厚生費	4,300	4,500	△ 200
臨時雇賃金	4,800	6,200	△ 1,400
人件費 計	90,500	86,900	3,600
経費			
旅費交通費	300	300	0
通信運搬費	1,700	1,400	300
諸謝費	100	100	0
保険料	700	800	△ 100
水道光熱費	12,500	12,000	500
消耗品費	12,000	10,000	2,000
租税公課	10,500	10,000	500
負担金	200	400	△ 200
印刷製本費	1,100	1,000	100
広告宣伝費	2,200	2,000	200
支払手数料	3,000	2,500	500
諸会費	100	100	0
新聞図書費	100	100	0
車両関連費	1,500	1,100	400
委託費	18,000	12,500	5,500
イベント費	2,000	1,500	500
修繕費	2,800	1,500	1,300
賃借料	2,200	2,000	200
経費 計	71,000	59,300	11,700
計	161,500	146,200	15,300
3 固定資産取得支出			
その他の固定資産			
建物	15,000	0	15,000
建物附属設備	2,700	2,000	700
構築物	2,000	2,000	0
機械装置	700	0	700
工具器具備品	1,000	3,000	△ 2,000
ソフトウェア	1,000	1,000	0
車両運搬具	500	500	0
計	22,900	8,500	14,400
4 予備費			
予備費	2,000	2,000	0
計	2,000	2,000	0
当期支出合計 (C)	200,400	169,700	30,700
当期収支差額 (A) - (C)	△ 5,700	10,300	△ 16,000

報告第10号

令和5年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの経営状況について、次のとおり報告する。

令和6年8月28日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和5年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和6年度事業計画書及び収支予算書

一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

令和5年度事業状況報告書及び収支決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和6年度事業計画書及び収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和5年度事業状況報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

いなべ市では、にぎわいの森を核とし、山辺エリアを意識した活性化事業が進められており、行政や民間を問わず、様々なプレイヤーが活発に活動しています。弊社も飲食サービス事業、商品開発事業、グリーンインフラ事業、健康アプリの啓発といった新たな分野での事業展開にも挑戦しました。

令和5年4月からスタートしたNordisk Hygge Circles UGAKEIの飲食サービス事業においては、屋外営業を手探りで運営する苦労はありましたが、これまでのまちづくり事業で構築した地域との関係性を武器に、いなべらしいサービスを提供することができました。全国的にインバウンド事業の伸びが話題となっている中、当該施設は話題性に富み、多くの事業者や団体から注目をいただいています。

商品開発の分野でも、甘酒やお茶を使ったクラフトビールなどが生まれ、市内宿泊施設やイベントのみならず、市外でもご好評いただいています。今年初めて出店した梅まつりにおいても多くの方にご購入いただき、結果として小売業でも成長を遂げることができました。

いなべ市の新たな施策であるグリーンインフラに関する取り組みでは、行政側の思いと地域の人々の思いをつなぎ、協働の推進役として関わることで、弊社としても改めてまちの未来について考え、共に成長することができたと感じています。

以下、事業別に実施状況を報告します。

- 1 ファシリティマネジメント事業
- 2 地域商社事業
- 3 まちづくり事業
- 4 宇賀溪キャンプ場関連事業
- 5 参考

1 ファシリティマネジメント事業

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 管理業務

業務	作業内容	実績
外部管理業務	草取り・清掃	4,363 時間
	草刈り・剪定	402 時間
	草木処分	16,033 kg
シビックコア棟清掃業務	清掃全般	1,283 時間

イ マネジメント業務

(ア) 施設利活用の促進

ウクライナチャリティ写真展	令和5年4月22日～24日
いなべの写真展	令和5年4月28日～5月22日
デカケルわんこびより	令和5年9月10日
I N A B E S T A X	令和5年10月15日
いなこねマルシェ	令和5年10月22日
衣琲ノ森	令和6年3月17日

(イ) 利用相談及び調整

おやこ防災	令和5年6月17日
いなべる啓発イベント	令和5年8月20日
みえの森フォトコンテスト	令和5年8月21日～9月8日
認知症啓発イベント	令和5年9月23日
三重県イベント調整	令和5年9月23日～12月24日
桑名弦楽合奏団クリスマスコンサート	令和5年12月10日

(ウ) 修繕・安全管理等

パラソル等備品の安全確認
雨樋清掃
豪雨、積雪等の施設内確認及び整備
蜂の巣、蛇等の除去
散水ホース修繕
各種看板設置
漏電時等のトラブル対応
大型イベント時の安全確認

(2) にぎわいの創出

ア 日曜マルシェ

開催：42回 出店者数：178店（市内49店、市外129店）
 レジカウント2,058件 売上額2,536,604円

イ 地域連携型イベント、ワークショップの運営

- (ア) いなべ楽市 令和5年8月20日（1,500人）
- (イ) クリスマスイベント 令和5年12月1日～25日

(ウ) にぎわいの森スタンプカード 令和6年3月1日～18日 (294人)

(エ) いなべ楽市 令和6年3月10日 (2,300人)

ウ にぎわいの森利用者属性調査

令和5年5月6日～10月19日 大規模なアンケート調査を実施

回収数 1,340件 (平日604件、休日736件)

属性情報、居住地、予算、情報源、イベントニーズ等の集計、分析を行った。

エ にぎわいの森ブドウ園跡地活用

ドッグランの設置 (20m×17.5m。大中型犬と小型犬分離)

(3) inabe's shop 及び情報発信コーナー「31スタジオ」の運営

ア 地域商材の紹介と販売 売上額 19,670,680円 取引事業者約65者

(参考) 昨年実績：売上額 11,928,165円 取引事業者 65者

イ 市内の情報収集及び発信

(4) 施設の経済波及効果測定

ア 2022年度三重県内経済波及効果 3.07億円

うち、粗付加価値誘発額 1.79億円

うち、雇用創出効果は、雇用者所得誘発額 0.72億円、雇用者誘発数 30人

イ いなべ市観光入込客数 (うち、にぎわいの森)

2018年 431,632人

2019年 800,542人 (345,999人) 5月開業

2020年 722,710人 (363,740人)

2021年 683,189人 (374,491人)

2022年 660,715人 (357,200人)

2023年 678,681人 (342,408人)

(5) その他プロモーション業務

ア イベント等出展

(ア) outdoor adventure race (福岡) 令和5年4月15日～16日

(イ) GO OUT JAMBOREE2023 (愛知) 令和5年4月22日～23日

(ウ) sotosotodays market (神奈川) 令和5年4月29日～30日

(エ) FIELDSTYLE SUMMER MARKET (愛知) 令和5年5月20日～21日

(オ) かこむ仕事百貨 (群馬) 令和5年5月27日～28日

イ 健康アプリいなべる啓発業務

(ア) チラシ制作業務、いなべエフエムでの発信

(イ) スタンプラリーの開催

(ウ) 事業者へのアプローチと景品等調整

2 地域商社事業

(1) 地域回遊イベント・企画の実施

にぎわいの森と梅林公園との連携

梅まつりへ向かう顧客層に対し、SNSを使って訴求。入場券付きのお得なセットを

販売。

実施日 令和6年2月29日～3月15日 参加者 171人

(2) 地域資源を活かした商品開発・販路開拓

ア 商品開発

- (ア) いなべ菓子「ののか」春・夏レシピ、ギフトボックス
- (イ) あまさけ「あまさけと」「お茶とあまさけと」
- (ウ) クラフトビール「煎茶 HazyIPA」

イ 販路開拓

- (ア) ののかのふるさと納税返礼開始
- (イ) ののか販売 POP-UP 販売
- (ウ) あまさけ POP-UP 販売
- (エ) ビール POP-UP 販売
- (オ) ご当地ほりにし販売を通じたPR出展

(3) 野遊び SDGs 広報業務

ア 外国人旅行者をターゲットとした記事の掲載

フランス Figaro 誌発行の「FIGARO VOYAGE」

紙 80,000部 電子 175,000部 令和5年10月2日

イ 現地企業を対象としたセミナー開催

令和5年10月12日 参加者6社

ウ 海外エージェント向けプレゼン用動画作成

120秒動画1本

エ インバウンド向けウェブページ制作

日本語、英語、フランス語

(4) 野遊び SDGs 旅行商品造成業務

ア 外国人旅行者をターゲットとした旅行商品の造成

大手企業を顧客に持つ旅行会社等ファムトリップ

開催日 令和5年12月8日～10日 参加者 フランス人3人

イ インバウンド事業体制構築

- (ア) サステイナブルツーリズム等、世界的な基準による事業検討
- (イ) 手配及び受け入れ体制の検討
- (ウ) 研修業務

ウ フランス団体の受け入れ

フランス企業の福利厚生旅行 200人受け入れ (40人×5回)

(5) 山辺店舗群実証実験

ア Mobile HUTTE (ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台) 企画進行管理

- (ア) 試験車両の管理
- (イ) 車両運用課題等のフィードバック (いなべ市及びダイハツ工業)
- (ウ) 新規車両開発ディレクション (開発事業者への情報フィードバック)

イ 実証運用

市内外で年間 62 回運用

市外：名古屋モーターサイクルショー、メ～テレドデ祭、もしも FES 渋谷等

市内：One 大安レクリエーション、各キャンプ場等

3 まちづくり事業

(1) 生業、移住、子育てなどをテーマとしたイベント・企画の実施

ア まちづくり会議（コンテンツ創出につながる）

- (ア) 第1回 令和5年4月18日 フィールド見学 3人
- (イ) 第2回 令和5年9月2日 実施内容検討 16人
- (ウ) 第3回 令和5年10月14日 振り返りと意見交換 4人
- (エ) 第4回 令和5年11月4日 実施内容検討 17人
- (オ) 第5回 令和6年2月16日 社会像設定 3人

イ 長時間滞在促進コンテンツ創出

- (ア) 第1回 令和5年8月1日 65人
暮らしと自然がつながる Lab.（シンポジウム）
- (イ) 第2回 令和5年9月9日 300人
川であそび森をあるく日（宇賀川弁天橋付近）
- (ウ) 第3回 令和5年11月11日 400人
森のとびら in 三重（トヤオ工務店大規模集客型イベント）
- (エ) 第4回 令和5年11月12日 29人
扉をノックする日（川・森・火・暮らし・過去・未来をテーマとした自然体験）

(2) その他

- ア 地域のプレーヤと共にフィールド整備
- イ グリーンインフラ事業の調査、研究
- ウ グリーンインフラ事業のPR支援

4 宇賀溪キャンプ場関連事業

(1) 飲食サービス事業

一般利用 976人（大人894人、小学生56人、幼児26人）

その他、団体、企業等の受け入れ

(2) イベント支援事業

- ア 市外企業向けアウトドアイベントの支援
- イ 市内他団体のイベント支援
- ウ Nordisk Hygge Circles UGAKEI 開業レセプション
- エ Nordisk Mountain Trail Inabe 運営支援

(3) 三重県関連事業

- ア 「拠点滞在型観光×三重」ブランディングモデル事業
- イ みえガストロノミーツアーリズム事業
- ウ ワークーション事業

5 参考 受賞歴

- (1) 地域プロモーションアワード2022 ふるさとパンフレット大賞「優秀賞」
- (2) 第12回地域再生大賞 優秀賞受賞
- (3) 第8回環境省グッドライフアワード 審査員特別賞「SDGs ビジネス賞」受賞
- (4) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2020 優秀賞

令和5年度収支決算書

令和5年4月1日

令和6年3月31日

(単位：円)

＜収入の部＞

科 目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
業務受託収入	65,088,375	64,516,092	572,283	
補助金収入	10,020,500	13,847,000	△ 3,826,500	いなべ市、三重県
宇賀溪事業収入 ショップ除く	23,391,353	0	23,391,353	
その他自主事業収入	24,085,396	16,317,652	7,767,744	小売、ツーリズム
雑収入	155,207	126,946	28,261	利息、視察資料
収入合計	122,740,831	94,807,690	27,933,141	
前年度繰越金	1,298,625	4,794,132	△ 3,495,507	
合計	124,039,456	99,601,822	24,437,634	

＜支出の部＞

科 目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
商品仕入	27,239,181	19,831,251	7,407,930	
広告宣伝費	3,402,060	2,259,694	1,142,366	プロモーション事業、野遊びSDGs広報事業
販売促進費	88,345	0	88,345	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	944,638	845,455	99,183	イベント会場借上料
給与手当	30,366,211	18,176,794	12,189,417	職員5人、アルバイト、市派遣職員手当
賞与	5,467,258	3,180,320	2,286,938	
外注費	22,420,209	34,042,227	△ 11,622,018	施設管理、プロモーション、野遊び事業
法定福利費	7,222,439	5,247,760	1,974,679	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	817,055	912,453	△ 95,398	冷蔵ショーケース
修繕費	0	157,000	△ 157,000	
レンタル費	0	66,300	△ 66,300	
消耗品費	3,579,267	5,614,181	△ 2,034,914	
旅費交通費	2,089,655	1,403,096	686,559	通勤手当、出張旅費
租税公課	122,000	196,850	△ 74,850	償却資産税、印紙
交際接待費	882,600	219,155	663,445	手土産、講師謝礼
保険料	1,279,500	538,690	740,810	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	1,241,210	960,447	280,763	電話、システム、切手
諸会費	33,478	125,660	△ 92,182	観光協会、商工会、クレジットカード
車両関係費	422,905	228,825	194,080	ガソリン代
貸倒繰入額	13,648	48,800	△ 35,152	
会議費	167,102	14,447	152,655	竜のコバ利用料
リース料	2,607,000	2,525,000	82,000	軽トラリース
保守管理費	30,000	0	30,000	WOSH保守プラン
雑費	1,005,918	688,625	317,293	
研修費	33,407	6,455	26,952	視察、資格講習
報酬料金	816,000	941,712	△ 125,712	会計士顧問料、アドバイザー料
設備備品引当金繰入	5,000,000	0	5,000,000	
固定資産除却損	964,480	0	964,480	宇賀溪大型テント2張り
法人税、住民税及び事業税	1,252,200	72,000	1,180,200	
支出合計	119,507,766	98,303,197	21,204,569	
期末繰越利益剰余金(繰越金)	4,531,690	1,298,625	3,233,065	
支出計	124,039,456	99,601,822	24,437,634	

損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
業務受託収入	65,088,375	
補助金収入	10,020,500	
自主事業収入	47,476,749	122,585,624
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	514,843	
10%仕入高	7,136,522	
8%仕入高	13,433,636	
外注費	7,920,151	
合 計	(29,005,152)	
期末棚卸高	1,765,971	27,239,181
売 上 総 利 益		(95,346,443)
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	3,402,060	
販売促進費	88,345	
会場借上費	944,638	
給料手当	30,366,211	
賞与	5,467,258	
外注費	22,420,209	
法定福利費	7,222,439	
減価償却費	817,055	
消耗品費	3,579,267	
旅費交通費	2,089,655	
租税公課	122,000	
交際接待費	882,600	
保険料	1,279,500	
通信費	1,241,210	
諸会費	33,478	
車両関係費	422,905	
貸倒繰入額	13,648	
会議費	167,102	
リース料	2,607,000	
保守管理費	30,000	
雑費	1,005,918	
研修費	33,407	
報酬料	816,000	
設備備品引当金繰入	5,000,000	90,051,905
営 業 利 益		(5,294,538)
【営業外収益】		
受取利息	184	
雑収入	155,023	155,207
経 常 利 益		(5,449,745)

科 目	金 額	
【特 別 損 失】 固定資産除却損	964,480	964,480 円
税引前当期純利益		(4,485,265)
法人税、住民税及び事業税		1,252,200
当 期 純 利 益		(3,233,065)

貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 46,786,820】	【流動負債】	【 19,905,546】
現金及び預金	17,530,862	買掛金	4,295,370
売掛金	27,351,173	未払費用	7,649,146
商品	1,765,971	未払消費税等	3,967,600
前払費用	145,000	預り金	2,741,230
立替金	144,800	法人税等充当金	1,252,200
未収入金	13,200	【引当金】	【 12,800,000】
貸倒引当金	△164,186	設備備品引当金	5,000,000
【固定資産】	【 450,416】	修繕引当金	7,800,000
(有形固定資産)	(300,416)		
車輜運搬具	4	負債の部合計	32,705,546
工具器具備品	300,412		
(投資その他の資産)	(150,000)	資本の部	
保証金	150,000	【株主資本】	【 14,531,690】
		(資本金)	(10,000,000)
		基金	10,000,000
		(利益剰余金)	(4,531,690)
		繰越利益剰余金	4,531,690
		純資産の部合計	14,531,690
資産の部合計	47,237,236	負債及び純資産の部合計	47,237,236

令和6年度事業計画書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

いなべ市は、現在、市内回遊促進、農業・商業振興、生業支援、移住促進、市民協働促進、持続可能なまちづくりといった課題に直面しています。これらの多様な行政課題を理解し、各行政部門と連携可能な公共性の側面と、スピードと柔軟性をベースに広く市民感覚と顧客目線を取り入れる企業性の側面を併せ持つまちづくり事業に取り組み、引き続きグリーンクリエイティブいなべを理念としたまちづくりを推進します。

Nordisk Hygge Circles UGAKEI や阿下喜温泉から生まれ変わった「いなべ阿下喜ベース」をはじめ、多くの施設・店舗が開業し、まちに新たな流れが生まれています。これを好機とし、周辺地域と連携しながら、改めてにぎわいの森を核としたまちづくりを促進します。

全国的にも過去に例のないほどの外国人観光客が日本を訪れています。これらの観光客を取り込むために、より多くの事業者と関係を構築し、稼ぎを生み出す事業と、まちづくりの人材発掘及び育成の事業を掛け合わせ、地域と一体となって持続可能な体制づくりに取り組みます。

1 ファシリティマネジメント事業

“にぎわいの森”を含む庁舎周辺施設の環境を良好な状態に保持するとともに、各テナントとの連携調整、利用者のニーズ把握、課題解決に取り組むことで施設の満足度向上につなげます。特に今年度は地域との繋がりを意識しつつ、商業施設としても魅力的なものへと磨き上げを行います。

また、Nordisk Hygge Circles UGAKEI で培った飲食サービスのノウハウを生かし、企業への提案やイベント支援等の取り組みも強化します。特に、令和8年開業予定の梅林公園新施設でも地域性のあるサービスが実現されるよう提案し、弊社としての役割も十分に検討します。

【運営の柱】

- (1) 庁舎周辺管理業務
 - ア 庁舎周辺植栽管理・清掃管理、シビックコア棟清掃
 - イ マネジメント業務
- (2) にぎわいの森
 - ア イベント・体験等によるにぎわいの創出
 - イ アンケート調査・分析、経済波及効果測定
 - ウ inabe's Shop 運営
 - エ にぎわいの森ウェブサイト、SNS 等での情報発信
- (3) 宇賀溪
 - ア 飲食サービスの提供
 - イ 企業案件、イベント等催事の開催
- (4) 新規事業開発

ア 農業公園新施設事業スキーム検討、その他施設関連事業開発

イ 運営開始を見据えた実証事業等の実施

(5) 山辺店舗群実証実験

Mobile HUTTE (ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)を利用した実証実験

(6) プロモーション業務

イベント出展、企画実行によるまちのPR

2 地域商社事業

分野の異なる地域資源や人をつなぎ、来訪者の地域回遊を促進するなど、新たな交流と人の流れを創出します。これまで準備を進めてきたインバウンド事業で徐々に企業からの相談の機会が増えているため、体制構築に向け更なる改善に取り組みます。連携する事業者にも収益をもたらすことができるように、当社としてもビジネスベースの体制づくりに取り組みます。

幅広い事業者と連携ができるという弊社の強みを生かし、商流の川上から川下を見渡ししながら、地域性の強い商品開発と販路開拓にも取り組みます。

【運営の柱】

(1) 地域資源を活かした商品開発と販路開拓

(2) インバウンド商品販売

ア フランス団体旅行の受入れ

イ 旅行エージェントへの売り込み

(3) 旅行商品の造成・受入体制の構築

ア 着地型ツアー商品の開発

イ モニターツアー等での課題抽出と解決

ウ 受入体制の構築 (インバウンド対策含む。)

(4) 山辺店舗群実証実験

3 地域デザイン事業

子育てや世代間交流など、地域課題の解決につながる事業を実施します。将来のまちづくりを担う人材の発掘及び育成を目的に、活躍の場の創出や学びの機会を得るための企画を実施します。

弊社が各種調整役を担い、発掘した人々に焦点を当て、紙媒体やウェブ等といった幅広いメディアを利用しつつも、統一された世界観を持って情報発信を行います。

【運営の柱】

(1) 生業、移住、子育てなどをテーマとしたイベント・企画の実施

ア まちづくり会議の開催 (妄想会議、構想会議等)

イ 学びの機会となる講座やイベント、体験型ワークショップの開催

(2) まちづくりの調査・研究

ア まちづくりに関する情報の収集及び研究

イ 人材育成のための研修

令和6年度収支予算書

令和6年4月1日

令和7年3月31日

(単位：千円)

<収入の部>

科目	当年度	前年度	増減	備考
業務受託収入	75,300	62,200	13,100	いなべ市他
補助金収入	8,000	10,000	△ 2,000	いなべ市他
宇賀溪事業収入 ショップ除く	25,000	30,000	△ 5,000	
その他自主事業収入	25,000	22,000	3,000	小売、ツーリズム
雑収入	100	100	0	利息、視察資料
収入合計	133,400	124,300	9,100	
前年度繰越金	4,531	1,298	3,233	
合計	137,931	125,598	12,333	

<支出の部>

科目	当年度	前年度	増減	備考
商品仕入	30,000	38,000	△ 8,000	
広告宣伝費	3,500	2,300	1,200	プロモーション事業、野遊びSDGs広報事業
販売促進費	100	0	100	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	1,000	1,000	0	イベント会場借上料
給与手当	37,000	24,000	13,000	役員1人、職員5人、アルバイト、市派遣職員手当
賞与	6,740	4,800	1,940	
外注費	23,000	34,000	△ 11,000	施設管理、プロモーション、野遊び事業
法定福利費	9,000	7,259	1,741	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	100	913	△ 813	冷蔵ショーケース
修繕費	300	200	100	
レンタル費	0	50	△ 50	
消耗品費	3,000	2,500	500	
旅費交通費	3,000	1,360	1,640	通勤手当、出張旅費
租税公課	140	1,187	△ 1,047	償却資産税、印紙
交際接待費	900	300	600	手土産、講師謝礼
保険料	1,340	1,340	0	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	1,500	1,000	500	電話、システム、切手
諸会費	120	30	90	観光協会、商工会、クレジットカード
車両関係費	430	250	180	ガソリン代
貸倒繰入額	100	100	0	
会議費	240	0	240	
リース料	1,878	2,525	△ 647	軽トラ
保守管理費	30	0	30	WOSH保守プラン
雑費	500	300	200	
研修費	600	0	600	視察、資格講習
報酬料金	1,000	900	100	会計士、社労士
設備備品引当金繰入	5,000	0	5,000	
法人税、住民税及び事業税	1,500	100	1,400	
予備費	913	1,184	△ 271	
支出合計	132,931	125,598	7,333	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	5,000	0	5,000	
支出計	137,931	125,598	12,333	